

ダイヤクラフト

秋田工場(横手市)

本社移転へ改修完了

県の誘致企業でプラスチック用金型製造のダイヤクラフト(東京)が、横手市雄物川町の秋田工場への本社機能移転に伴って進めていた改修工事が完了し、20日に関係者へお披露目した。稼働は始まっているが、正式な本社移転は10月になる見込み。



改修された工場内を見学する行政関係者ら

秋田工場は鉄筋一部2階建て、延べ床面積1911平方メートル。工事では、工場内に新たに材料倉庫を設け、生産効率を高めるために作業動線を変えた。東京の本社からの機材移設なども含め約6千万円を投じた。従業員は8人増え47人。東京の本社は今月末に引き払う。

20日は、親会社のダイヤモンドエレクトリックホールディングス(大阪市)の小野有理(のり)社長が出席し神事を行った後、行政関係者ら約20人が工場を見学。従業員の説明に耳を傾けながら、金型などの製造現場を見て回った。小野社長は「ものづくりに集中できる環境を得られた。仲間(従業員)には勇氣、希望を持って躍動してほしい」と述べた。

ダイヤクラフトは、車の電装部品や医療機器などに対応するプラスチック製品の金型製作、成形加工、試作品製造を手がける。1989年に東京で創業し、93年に旧雄物川町に進出。インドとタイにも生産拠点を持つ。東北に車向け大型金型の取引先が多く、秋田工場に機能を集約して事業効率化、業績拡大を目指す。

(藤田向)